大学生の契約(契約書)における リスク回避のための ツール開発プロジェクト

目次

- 背景
- プロジェクトの概要 (機能etc...)
- LLMとは?
- プロジェクト内容 (ユースケース)
- プロジェクトのメリット
- ・まとめ

背景

仮説

- 大学生は契約において不利益を被りやすい(賃貸・バイト・就職)
- 契約文書が長いとしっかりと読み込む人が少なくなる、見落としが発生する

現状でできること

・契約書の作成側のリーガルチェックのサポートAIはあったが、顧客側のサポートはなかった

プロジェクト概要

目的:契約者が契約書に関わる損失を回避し、効率的に契約文書を理解する ターゲット:大学生(バイト応募者・賃貸契約者・金銭の貸借契約者) 機能:

- ・似た傾向の文書との比較とリスクの提示
- 不利益となる可能性のある文章の検出
- 文書の要約
- ・硬い文章の柔らかい文章への変換
- ・難しい言葉の解説or解説ページへのリンク付け

使用するデータ

- ChatGPTがベース
- ・契約書類のデータをLLMに読み込ませる
- Webサイトなどからおかしい文書の例などを学習させる

=判例の学習

裁判所が公開 している民事 事件の記録 LLMを使うと読み込ま せることのできるデー タの幅が広がる

LLMとは?

LLM (Language Model for Language Model)

- 複数の自然言語処理モデルを組み合わせる技術。
- 異なるモデルの強みを活かし、広範なタスクに対応可能。
- モデル間の補完を通じて、タスクの多様性に対応。

Chat-GPT

- GPTの変種で、対話に特化したモデル。
- リアルタイムの対話に適しており、自然で流暢な対話を生成。
- 対話をより自然なものに近づける能力を持つ。

システム構成図(1)







法律や判例のテキスト データ







法的文書のテキストデータ

テキストデータを読み込ませて 判断基準を持たせたシステム









問題点、類似して いる判例のピック アップ

ユーザーへ提供

LMM作成

ユーザーに関係のあるデータ のみ抽出し効率的で高性能な システムが作成できる

システム構築図(2)

契約文書の写真を撮る



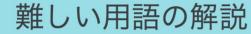
機能:「要約・用語簡易化」

文書の要約



ChatGPT







解説ページへのリンク付け



プロジェクトのユースケース ①リスク表示

- ①不利益となる可能性のある文章の検出
- 1. ユーザが契約書を撮影。
- 2. ユーザがシステムへ写真をアップロード
- 3. システムがテキストを受け取る。
- #判例や法律を読み込ませたLLMが用意されているものとする
- 4. システムが法律LLMを介して契約書の問題点をピックアップ
- 5. システムがユーザに契約書の問題点を表示
- 6. ユーザが問題点を確認

プロジェクトのユースケース ②用語簡易化

- ②契約書の要約・硬い文章の柔らかい文章への変換・難しい言葉の解説or解説ページへのリンク付け
- 1. ユーザが契約書を撮影。システムがテキスト化
- 2. システムがテキストを読込む
- 3.システムがChatGPTを用い、テキストを要約・読みやすい文章へ変換
- 4.システムが3で作成した文章から、自然言語処理で法律用語を摘出する
- 5.システムが、摘出した法律用語と用語集のページリンクを繋げる
- 6.システムがユーザに3の文章と5のリンクを提示
- 7.ユーザが契約書の要約と法律用語を確認

プロジェクトのメリット・新規性

- 契約においてのリスク回避・自己防衛
- 契約書を読む時間の節約
- 大学生の法律に対する意識の向上・リテラシーを身につけられる

まとめ

大学生をターゲットとした契約時の契約書におけるリスク回避のためのツールを提案 した。

- ・似た傾向の文書との比較とリスクの提示
- ・不利益となる可能性のある文章の検出
- ・文書の要約
- ・硬い文章の柔らかい文章への変換
- ・難しい言葉の解説or解説ページへのリンク付け
- の機能を開発し、ユーザに提供することを想定した。

このプロジェクトで契約者が契約書に関わる損失を回避し、効率的に契約文書を理解することができると考えた。